学校番号	３１２

令和２年度　芸術（書道）科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

用具用材準備物をきちんと整えて授業に望むのが基本です。用具用材を生かして作品の製作に取り組みましょう。身の回りの書作品にも進んで目を向け作品制作に応用できるようにしましょう。刻字など創作の分野が広がります。集中して主体的に学習することが大切です。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	諸表現の諸要素を感受し感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解しその価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書 (1)	・主に篆書と隷書の学習 ・画仙紙の作品制作	○	 ○	 ○	○	a: 篆書・隷書の特徴や用筆法に関心をもっている。 b:用筆法や字形のとり方、紙面構成を工夫している。 c:書体の特徴や用筆法を習得し、形式に応じて表現している。 d:書体の特徴や用筆法を理解し、その美しさを味わっている。	観察 レポート 提出作品
	漢字仮名交じりの書	・文学作品などを扱い、紙面構成や用筆を工夫した作品制作 ・生活の中の書(団扇硬筆)	 ○	○	○	 ○	a:漢字と仮名の調和や日本文化に関心を持っている。 b:紙面構成や用筆を工夫している。 c:目的や形式、意図に応じて効果的な表現をしている。 d:日本の文化や書の効果について理解を深め、その良さや美しさを味わっている。	観察 レポート 提出作品
2学期	漢字の書 (2)	・主に草書の学習 ・画仙紙の作品制作 ・古典(真草千字文)の書	○	○ ○	 ○ ○	 ○	a:草書の字形や用筆法に関心をもっている。 b:紙面構成や用筆・運筆を工夫している。 c:書体の特徴や用筆法を習得し、形式に応じて表現している。 d:古典や他者の作品の良さや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート 提出作品
	刻字 漢字の書 (3)	・セラミックボードの作品制作 ・画仙紙の作品制作(書体の学習のまとめ)	○	○	 ○	 ○	a:用具用材の効用、文字の美に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:目的や形式、意図に応じて表現を工夫している。 c:書の効果的な表現の技能を身に付け、表現している。 d:漢字の書についての理解を深め、多様な美しさを味わっている。	観察 レポート 提出作品

3学期	生活に生かす書	・小筆書きによる葉書大の作品制作 ・姓または名を板に刻み、表札作品の制作	○	○	○	○	a:手書きの効用や日本の文化に関心を持っている。 b:目的や形式、意図に応じて表現を工夫している。 c:用具用材の特徴や機能を生かして自分の意図を表現している。 d:書の美の多様性や発展性を感じ、個性の表現の一つとして理解している。	観察 レポート 提出作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。